2026年度 地区別父母懇談会 開催報告



二松學舍大學 父母会報

平成５年５月10日創刊
令和８年10月20日発行
（第134号）

二松学舎大学父母会
（本部・事務局）
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書

二〇二六年度二松学舎大学地区別父母懇談会が、七月四日（土）福岡市・八月八日（土）千代田区（九段キャンパス）で開催されました。

地区別父母懇談会は、父母会の主要事業の一つです。大学の現況や学生生活等について報告し、学業成績や進路等について保証人と教職員が一体となって考え、学生生活のさらなる充実を図ることを目的としています。

本懇談会では、大学の現況や本学の教育方針、学習状況・学生生活等についての報告を行いました。また、九段会場では、懇談会終了後に学生食堂で懇親会を実施し、保証人の皆様同士、教職員と軽食を交えながら親睦を深め、和やかな雰囲気の中、盛会のうちに終了となりました。参加された方々からは、「先生方の話も興味深く、大学に入ってから気になっていた話題について教えていただいて満足しています」、「同じ学部の保証人の方ともお話ができたので良かったです」等、感謝の言葉を頂戴しました。

このほか前述の大学報告に加え、「就職に関する講演会」および「教職に関する講演会」も行われ、いずれも好評を博しました。

最後に、当日参加された保証人の方からいただきましたアンケート結果の一部を本号に掲載いたしています。懇談会当日の様子と併せて、ぜひご一読ください。

福岡会場

七月四日（土）福岡会場・八月八日（土）九段会場にて「地区別父母懇談会」が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

船越　亮

思い切って、福岡地区の父母懇談会に出席しました。

関東に比べると在籍学生数は非常に少ないにも関わらず、先生方、父母会の方、はるばる博多までおいでいただき、ありがとうございました。

大学の現況と二学部の説明の後、豪華なお弁当を出していただき、朝食を食べすぎたと後悔しました。

食事中は、博多のラーメンやうどんの話でアイスブレイクをしていただき、ほぐれたところで父母会の方からお話を聞きました。子どもに対する心配、意外な子どもの成長など、共感するところ、羨ましいところなど、非常に引き込まれました。

中締めの後、個別相談の時間では、パーテーションの中で先生方に話を聞いていただき、込み入った話をしたかった身として大変ありがたかったです。学生支援課の職員の方、学務局長の須藤先生、文学部長の五月女先生に、本当に親身に相談に乗っていただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業まで、親として心配しながらも安心して二松学舎にお預けしたいと思います。











九段会場

小山忠彦

二〇二六年八月八日（土）に九段会場で開催された地区別父母懇談会に参加させていただきました。この場を借りて開催にご尽力いただいた父母会役員の皆様、ご協力いただいた皆様、大学関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

懇談会では宮下会長のご挨拶に始まり、佐藤学長からＡＩ時代への向き合いと自身の力を高める大切さについてのお話、各学部の現況報告や教育方針、目指す学生像についてのご説明、就職や教職に関する状況や取り組みを伺いました。これらのことを直接お聞きでき、大変有意義な時間となりました。

二年生の子どもを持つ親として、早期化する就職活動への準備や心構えに関心があり、個別相談会ではキャリアセンターの方に丁寧にご相談に乗っていただきました。志望分野を広く捉えることや地域を限定しすぎない視点、コミュニケーション力の必要性などを教えていただき、キャリアセンターではいつでも相談に乗っていただけると伺いました。その内容を子どもに伝えたところ、就職についてより考えるきっかけとなり、自ら相談に行く意欲にもつながりました。

今後もこのような懇談の機会を通じて大学と家庭がつながり、子どもの成長を共に支えていけることを願っております。どうぞよろしくお願いいたします。







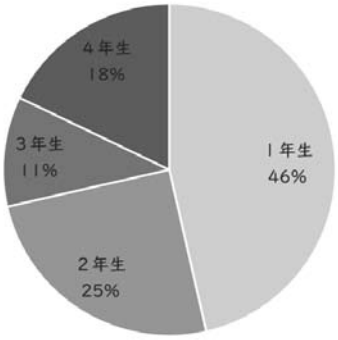




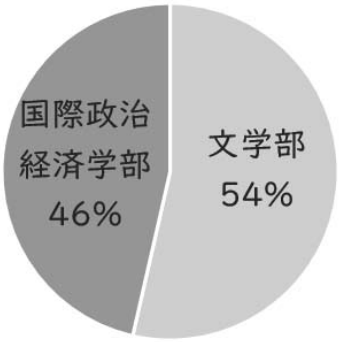
地区別父母懇談会アンケート集計結果

ご参加いただいた八十三世帯のうち、二十八世帯の保証人の皆様からアンケートのご回答をいただきました。
貴重なご意見は、今後の父母会活動や次年度以降の地区別父母懇談会に活かしていきたいと思います。

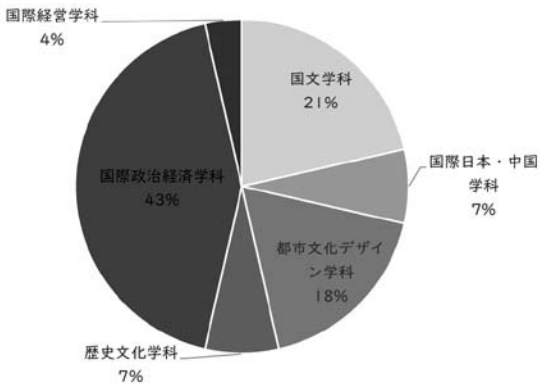
お子さまの学年



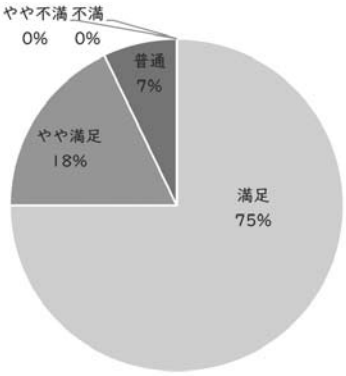
お子さまの学部



お子さまの学科



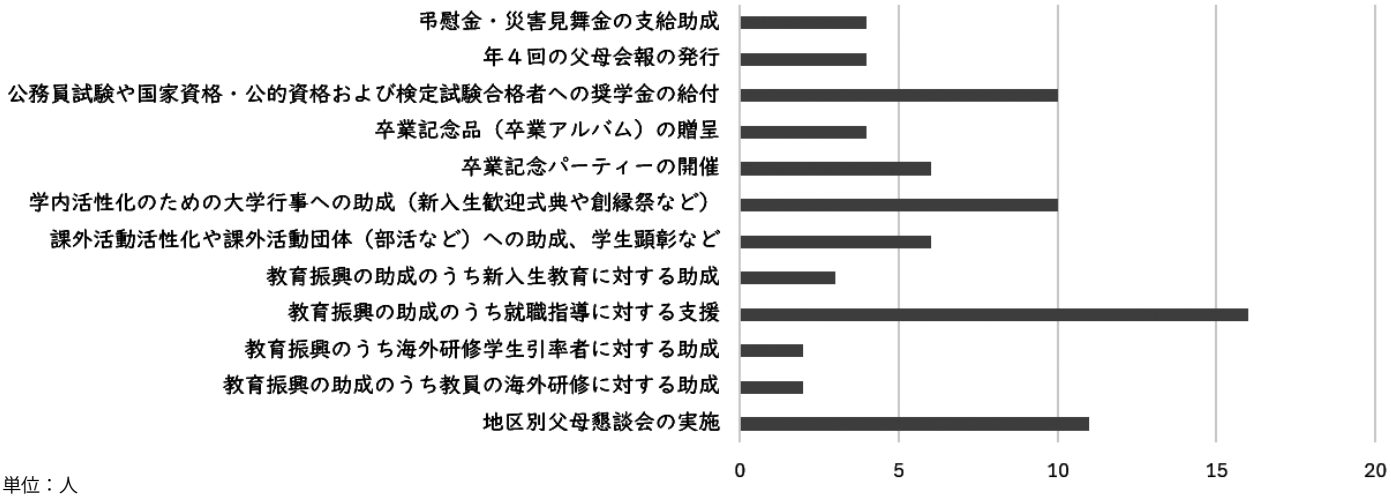
全体懇談会について



・学科の説明会も就職の講演会もとても分かりやすくて、興味深いものでした。子どもを通わせるのに、安心して預けられます。
・懇親会を設けて頂けたので、先生や他の保証人との会話も出来たのでとても有意義な時間でした。

・大変有意義な内容だったと思います。限られた時間の中で多くの事を知ることが出来ました。大学のサポートがとても充実していると感じました。

今後ますます活性化が必要と思われる項目をお選びいただきました。



単位：人

海◉外◉語◉学◉研◉修

父母会では、海外研修に助成支援をしております。今回は、短期海外語学研修に行った四名の学生に寄稿していただきました。

文学部　国文学科　二年
松本　葵
韓国　高麗大学校　約三週間



これまで私は一人で言語の勉強をしてきたため、正確な文法や発音が分からない部分もありました。しかし、現地で授業を受けたことで、今まで曖昧だった部分を正しく学ぶことができました。先生から直接教えてもらうことで、より理解が深まり、語学力の向上に大きく繋がったと思います。また、試験やスピーチもあったためコツコツと復習することを心がけました。その結果、修了式では優秀賞をいただくことができ、とても嬉しかったです。努力を続けることの大切さを改めて実感し、自信にもつながりました。また、語学力だけでなく精神的にも成長することができました。私はもともと積極的な性格ではなく、留学前は初めての環境で自分から行動することに不安を感じていました。しかし、授業や買い物を通して、積極的に行動できるようになり、以前より前向きな性格になったと思います。三週間という短い時間でしたが、様々なことを学ぶ良い経験になったと感じています。





文学部　歴史文化学科　三年
北　みりあ
台湾　淡江大学　約三週間

三週間の台湾語学研修を終えて、振り返ってみると本当に楽しかったです。台湾は日本より少し暑く、最初はその暑さにも少し驚きましたが、生活しているうちにだんだん慣れていきました。

寮では、大学が違う子たちとルームメイトになりました。最初は少し緊張しましたが、思っていたよりもずっと快適に過ごすことができました。特に違う大学の子たちだからこそ、自分の大学では聞けないような話をたくさん聞けたのが面白かったです。

最初の数日間は、一日が小学生の頃くらい長く感じました。それだけ慣れない環境で過ごすことが新鮮だったのだと思います。また寮生活では日本ではあまり経験しないようなこともたくさんありました。まず、寮にトイレットペーパーがなかったことが衝撃でした。さらに洋式トイレが一つしかなく、最初の頃はみんなで洋式を待っていました。しかし、途中からはみんな和式も使うようになり、環境に適応していく自分たちが面白かったです。今では自分も和式のエキスパートです。

授業だけでなく、共同生活や他の大学の人たちとの交流を通して、たくさんの人と仲良くなれたことも今回の研修で良かったことの一つです。普段とは違う環境に行ったからこそ、普段関わらない人たちと出会うことができ、新しい友達もできました。

三週間という期間は長いようで、終わってみるとあっという間でした。台湾での生活を通して、語学だけでなく、いろいろな人と関わる楽しさや、慣れない環境でもなんとか適応していくことの大切さも学ぶことができました。大変なこともありましたが、それ以上に楽しいことが多く、参加して本当に良かったと思います。







文学部　国文学科　三年
山岸　愛実
カナダ　フレーザーバレー大学　約三週間



今回の留学は私にとって二回目であり、高校在学中に行った短期留学が良い経験であったことから期待値を高く持って参加を決断したため、何もできなかったらどうしようという不安を抱えていた。しかし、結果的にカナダでしか経験することのできない体験を三週間余すことなく行えたと思う。学生寮で身の回りのことをすべて自分でやる、目的地に行くために必要な情報を収集し最大限楽しめるように計画する、カナダ特有の物事を実際に体験する、等の経験はこれからの人生に役立つ力であり、これらを経ることで自己の精神的・能力的な成長に大きく繋がったと考える。楽しいことだけではなかったが、それ以上の良い経験を積むことができたためカナダに留学して良かったと心から思う。





国際政治経済学部　国際政治経済学科　三年
小野池　七海
イギリス　ケンブリッジ大学　約二週間



初めての海外渡航で出発前はパスポートすら持っていませんでしたが、実際にイギリスへ渡航し、二週間の留学を無事に終えることができたことに大きな達成感を感じています。留学中は周りの留学生が流暢に英語を話す姿を目の当たりにして自分の英語力不足を痛感する場面も多かったため、上手くいくことばかりではありませんでした。しかし、そうした一つ一つの経験が自分自身の課題に気づくきっかけとなっただけでなく、異なる文化や価値観に触れ、自分の視野を広げる貴重な学びにつながりました。今回の留学を通して、挑戦することの大切さも実感することができました。また、留学について背中を押してくれた両親や友人、そして温かく応援してくださった方々に心から感謝しています。





学生相談室だより 134

学生相談室　相談員　江剌香奈

先日、映画『トイ・ストーリー5』を観に行ったところ、シリーズ1から4にはなかった展開に少し驚きました。子どもがタブレットなどのデバイスに夢中になることや、デバイスを通して友達を作り、人とつながることについて、明らかに警鐘を鳴らすような場面があったのです。「エンタメのストーリーの中に、ここまで直接的に注意喚起を入れるなんて、意外…」と思うと同時に、学生さんや親御さんから聞く話を思い出し、とても身近な問題に感じられました。

学生相談室では、スマホやSNSをめぐる人間関係の相談をきくことがあります。「LINEでひどいことを言われた」「なんと返事をしたらよいかわからない」など、便利な一方でうまく使わないと、直接的なやり取りでは起こらない類の葛藤や傷が生じているようです。

このような中で、デバイスと直接的なやり取りをどう使い分け、人間関係をどのように構築していくか考えるのは、とても複雑な作業に感じます。私は学生さんに、上の世代だからこそ感じられた体験を伝えて、考える材料にしてもらうことがありますが、反対に学生さんに教えてもらうことも多いです。SNSの独特なやり取りの細部から、信頼たる情報を取捨選択する、どのような場合にネットを通じて知り合った人と会ってもよいか検討するなど、早々に使い方を工夫し、比較的安全に使用している人もいます。ネットの人間関係に救われた経験を耳にすることもあり、一概に危険視するのも違うようです。

こうして考えると、身近な子どもや家族の、デバイスの使い方について心配になったときは、家族でお互いの経験を交換してみるのもよいのかもしれません。「どんなときはネットの方がいい？」「どこから直接話す？」と聞いてみる。それは「ネットは危ない」と警鐘を鳴らす以上に、この複雑な時代を生き延びていくための知恵をつくりあげる一つの支援になるのではないかと思います。

キャリアセンターだより 84

キャリアセンター事務課
山野美弥子（GCDF-Japan キャリアカウンセラー）

秋晴れの陽気が心地良い頃となりました。後期授業も本格始動したこの時期の大学は、すべての年次の学生がそれぞれの「次の一歩」を踏み出そうとする活気に満ちています。ご存じの通り十月は、就職活動において大きなターニングポイントとなる季節です。

まず、進路決定の当事者である三年生にとっては、いよいよ「本番モード」へスイッチを切り替える重要な時期です。夏にインターンシップや企業説明会に参加して得られた手応えや課題を胸に、自己分析や業界研究をより具体的な選考対策へと昇華させ、実り多き秋を迎えていくことになります。

キャリアセンターでは、この三年生後期という大事な時期に合わせて、就職する・しないに関わらず、三年生で「進路に関する面談を希望する方全員」を対象に個人面談を行っています。

また、一・二年生にとっても、秋は未来を意識する好機と言えます。学生生活に慣れ、心に余裕が生まれる後期だからこそ、将来の生き方や働き方に少しずつ目を向け始める学生が増えていきます。

そして四年生にとっては、内定式への参加を経て気を引き締めたり、あるいは納得のいく進路を求めて秋・冬採用に果敢に挑み続けたりと、一番の踏ん張りどころの時期でもあります。

このように学年ごとに状況は異なりますが、十月という季節の変わり目に進路と向き合う学生たちは、一様に焦りやプレッシャーを感じやすいものです。だからこそ特にこの時期においては、ご家庭が「焦りを煽る場所」ではなく、外での緊張を解きほぐし「エネルギーを充電でき、心理的安全性が確保された場所」となるよう、まずは心と体の健康管理を一番に支えて、温かく応援していただきたいと思います。

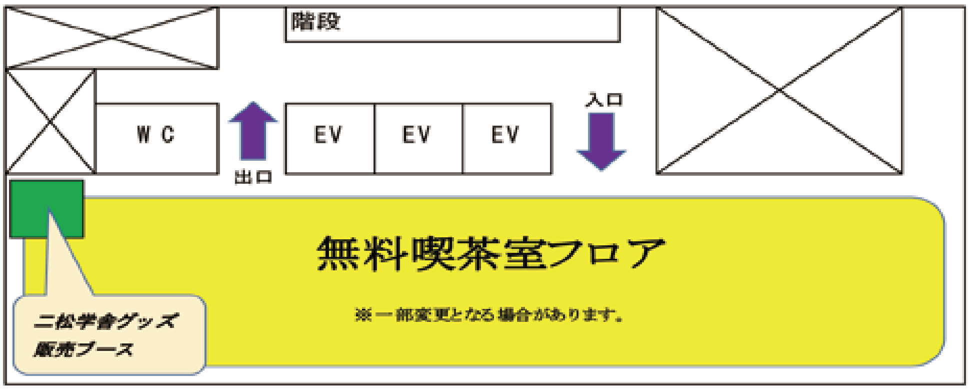
そして私たちキャリアセンターは、すべての学年の「今」に寄り添い、個別面談や各種支援講座の実施を通じて常に伴走し続けます。

二松学舎大学父母会

無料喫茶室







営業日時［1日目］10月31日（土）10時～17時
［2日目］11月　1日（日）11時～15時

※開催時間に変更が発生する場合がございます。

☆☆

毎年、創緑祭に同時開催しております父母会の行事です。学内最上階フロア『九段１号館13階ラウンジ』で、コーヒーやお茶、ジュース、お菓子などをご用意しております（無料）。ぜひお越しください♪
また、同フロアでは、二松学舎グッズも販売しております。そちらもぜひご覧になってください。

★飲食物持ち込み可。ちょっとした休憩場所としても、お気軽にご利用ください。
★同フロア内で、父母会の活動記録等も展示予定です。そちらも併せてご覧ください。

2026年８月８日（土）に開催された「二松学舎大学地区別父母懇談会（九段会場）」につきまして、NishoUNIPA（二松ユニパ）に当日の模様を動画配信しております。
ご都合の良いタイミングでご視聴いただけますと幸いです。

お問い合わせ窓口
二松学舎大学　学生支援課
TEL：03-3261-7427
E-mail：gakusei@nishogakusha-u.ac.jp

編集後記

この度の局地的な集中豪雨により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年も地区別父母懇談会を福岡・九段の二会場で開催いたしました。お忙しい中ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。九段会場では、昨年から立食形式の懇親会を取り入れ、今年は学科や学年が互いに分かるよう工夫したことで、参加者同士の会話も弾み、交流の輪が広がったように感じました。今後も気軽にご参加いただけるよう、皆様からいただいたご意見を今後に活かしてまいります。

秋には、創緑祭が開催されます。学生たちの活動発表やステージ、模擬店などで、キャンパスが大いに賑わうことでしょう。父母会では、一号館十三階ラウンジにて無料喫茶室を開設し、こだわりのコーヒーやお菓子をご用意いたします。また今年は、本学創設者・三島中洲の師である山田方谷の没後百五十年記念事業の一環として、生誕地・岡山県高梁市のブースも設置される予定です。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。季節の変わり目、皆様どうぞ健やかにお過ごしください。